

ミナミ
オ
グニ
マチ

南小国町

総人口…3,659人 男…1,754人 女…1,905人 世帯数…1,670世帯
(人口構成比) 15歳未満…11.0% 15～64歳…48.7% 65歳以上…40.3%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

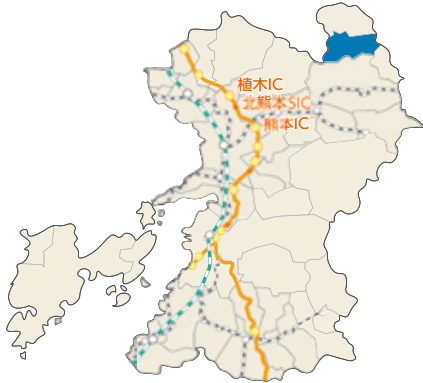


高橋 周二 町長

町では、2050年における町のありたい姿を描いた「共有ビジョン」を掲げ、様々な取組みを推進しています。私が目指すのは「挑戦を生みだす町」になることであり、それに向け挑戦の“種火”を町の中に伝播していくことが重要です。「南小国は地方の小さな町だからできない」ではなく、「南小国だからこそできること」「南小国でなければできないこと」を常に模索し、果敢に挑戦しながら、笑顔溢れる“上質な里山”を築いていきます。

寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
- ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦 ・その他



新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー2 過疎対策・定住移住

移住者・次世代人財のための住まい確保と空き家再生

町では、主要産業である農林業及び観光業の担い手や移住者の確保に向けた様々な施策を展開しています。しかしながら、現状では移住の際に一番に考慮される「住まい」が民間賃貸住宅を含め大きく不足しているため、移住を断念されるケースが多くあることが課題となっています。



移住定住に向けた事業の様子



カテゴリー7 雇用維持・創出

心と体の健康を維持し、活力ある人生を!

現在、町内の働き盛りの世代における健診受診率が低いことが課題となっており、受診率向上に向けて、特定健診やがん検診などを受診してポイントを貯める健康づくりポイント事業などに取り組んでいます。今後も引き続き健康寿命を延伸していくための様々な取組みが必要であると考えています。



きよらの郷健康づくりポイント事業

南小国町まち・ひと・しごと創生推進計画

笑顔が溢れる“上質な里山”

基本目標

1

雇用の創出と次世代を担う人財の育成

築いてきた里山の自然・文化を守るため、現在地域にある「しごと」の稼ぐ力を高めるとともに、地域内の人材育成と新たな「しごと」づくりへの挑戦を育てる。

基本目標

2

様々な人の連携と経済の循環による地域活力向上

町内外のヒト・モノ・コトをつなぎ、新たな連携や協働を創出するとともに、移住定住の受入れ体制の整備を図る。また、食物やエネルギー等の地産地消を推進し、地域内経済循環を高める。

基本目標

3

皆が誇りを持って活躍できる地域社会の実現

町民が肉体的・精神的な健康を維持し、充実した人生を過ごすための体制整備を図り、安心して子育てができる環境を整えるとともに、高齢者のいきがい・やりがいづくりを進める。

基本目標

4

誰一人取り残されず、安心して暮らせる町

交通弱者の不便さを解消するための移動手段の確保や生活支援を充実させる。また、公共インフラの安全性向上や防災機能の強化等を目的とした整備を進めていき、安心安全な町を創る。

重点プロジェクト

まちの人事部機能創出による人材還流促進プロジェクト

総事業費

24,000千円 寄附目標額 —

数値目標

●起業及び新規事業による売上総額 …… R6目標値:8,000千円
●新たな雇用事業登録マッチング件数 …… R6目標値:120件

(SDGs)関連するゴール



深刻化する地域産業等の担い手不足を解消し、地域の活性化及び持続的成長を図っていくことを目的に、地域DMOであり、かつ町内において中間支援機能を担っている株式会社SMO南小国(まちづくり公社)と連携し、「まちの人事部」機能を確立させ、地域内外の人材の流動性を高める取組みを進めています。具体的には、全国で5例目で九州では初めてとなる「しごとコンビニ®」の仕組みを導入し、事業者や働き手のニーズに応じた柔軟な働き方ができる取組みを積極的に進めています。

九州初上陸!「しごとコンビニ®」南小国町で導入開始



九州初導入の「しごとコンビニ®」の内容

寄附の具体的なメリット

- 本町との新たなパートナーシップの構築
- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 持続する「上質な里山」を活用したPRへの協力
- 地域との連携による新たな事業の展開
- 町HP等での企業名の掲載によるPR効果

寄附申出書の事業名選択時は「次世代を担う人材を育て活かす」を選択してください。

重点プロジェクト

安心して暮らし続けられるまちづくりプロジェクト

総事業費

38,492千円 寄附目標額 —

数値目標

●町民アンケートによる10年後の将来像に対する到達度の評価結果 …… (5段階)の平均値が4以上

(SDGs)関連するゴール



高齢者等が運転免許を持たなくても安心して住み続けることができる町となるために、地域の交通事業者等と連携し、タクシー利用費の助成やコミュニティバスの運行等の事業を実施しており、住民の移動手段の確保及び交通の利便性向上を図るための取組みを進めています。また、再生可能エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を推進し、本町が有する資源(木質バイオマス、小水力、太陽光等)の可能性を精査しながら利活用を進め、自然災害や原油価格の高騰などの外的要因に左右されないエネルギーの導入を目指しています。



温泉館「きよら」の木質バイオマスボイラー

寄附の具体的なメリット

- 本町との新たなパートナーシップの構築
- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 持続する「上質な里山」を活用したPRへの協力
- 地域との連携による新たな事業の展開
- 町HP等での企業名の掲載によるPR効果

寄附申出書の事業名選択時は「安心して暮らし続けられる町」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。